

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念「人として尊敬される」人命尊重・人権尊重に加え、その人らしく普通の暮らしが出来るよう配慮し、地域の人々との接触を保てる点でも努力している。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関・居間・ホール、また名札の裏に理念を張り出し、常に思いに留めるようにしている。定例会・運営推進会議においても、理念が実践されているかを確認している。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族：入居前に知人や親族など誰でも訪問できることを伝え、地域の中での暮らしを続けられることの大切さを伝えている。地域の人々：周辺に家が無い為、隣接する接骨院を利用される方、また老人会、民生委員の方々に訪問して下さるようお願いしている。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩時、近所の人にも積極的にあいさつをすることにより、自宅の庭の花など気軽に観賞させてもらっている。	接骨院利用の人も入居者との交流がある。入居者より、「今度カラオケに来てね」との誘い掛けに「楽しいで行くわ」と約束されるなど、気軽に立ち寄れる所になってきた。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	老人会の方が、ハーモニカ演奏などのレクのために気軽に訪問して下さる。岐南ふれあい祭り参加、文化祭による展示物の見学、岐南町主催の菊花展など積極的に参加するよう努めている。	

岐阜県 グループホーム若葉

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>		<p>運営推進会議の日程と家族の方との日程があわず、なかなか参加されることがないので、積極的に参加してもらえよう促していく。</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>		<p>1F－生活保護の方の金銭管理を岐南町社会福祉協議会を通じて、生活支援員の方に協力してもらっている。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>		

岐阜県 グループホーム若葉

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時だけでなく、その後も不安や疑問が生じる時には、何時でも誰かが対応できること、また直接会って話をするなどして十分な理解や納得を得て頂くよう対処している。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の意見や不満などは、周りを気にせず話せる様にそっと事務所に立ち寄ってもらえるような雰囲気づくりに心がけている。聞いた事柄は改善できることは実施し、家族訪問時その都度報告している。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月最低一回は、支払いを兼ねて訪問して頂くよう理解、協力してもらっており、その都度報告をしている。	職員の異動については、家族が尋ねられた時のみに行なっていた。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族には、気づいた時点で、何でも話して頂ける様説明している（24時間電話対応可）。改善できる点においては、直に実行したり、定例会にて検討した上で改めた点を家族に報告するようにしている。	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一回の定例会においては、毎回スタッフからの意見を傾聴し改善につなげている。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	食事介助や胃瘻の入居者に対し、家族の方の要望（できる限りここで暮らさせてあげたい）に沿い、時間をかけてケアできるよう配慮している。	夜勤者のみになる時間（21時～）を遅くすることで日勤帯に十分なケアができる様にしている。

岐阜県 グループホーム若葉

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>18 ○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>スタッフの異動はないが、個人的都合により離職することになっても、時々時間のある時に訪問してもらうなどの配慮したり、また時間の融通を図ることによって再就職してくれるスタッフも多い。</p>		
<p>5. 人材の育成と支援</p>			
<p>19 ○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修の機会を持ち、外部研修に積極的に参加してもらうようにしている。定例会では現場に即した勉強会を行い、新任スタッフについては担当者を決めて指導してもらうようにしている。</p>		
<p>20 ○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者との交流を図り、他の施設を訪問したり、訪問してもらったりしている。</p>		
<p>21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>休憩時間は、静かな場所でゆったりと休憩を取れるよう配慮している。定例会出席時は入浴券の配布、年間を通して一泊旅行、食事会の実施。個人の相談にも時間を取って話し合える場や機会をつくるよう努力している。</p>		
<p>22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>スタッフの中には、個人的にレクの仕方や老人向けの食生活などの講習会に出席したいとの要望のある人には、勤務を調整し、出席できるよう協力している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前、家族の方だけでなく、出来る限り本人にも来所してもらい、家族の方と一緒に食事をするようにしてもらっている。少しゆったりとした気分の中で、不安なこと求めていることなどを傾聴し、サービスに反映できるようにしている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	上記以外にも家族の方には24時間対応で何時でも説明できる場があることを伝えて、十分な理解をして頂いた上で決定してもらうように努めている。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本当に入所が必要かどうかを入居前の聴き取りの時に見極められよう努めている。	家族は入居を希望されていたが、本人は家族との同居を強く望まれていたため、まずはヘルパーやショート、デイを利用してもらいながら、その後に入居を考えて頂くよう提案した。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前訪問時に本人と他の入居者の人達と挨拶などの交わりの場を設け、日常の雰囲気を知ってもらうように努めている。入居前に1度か2度の訪問を進めて徐々に馴染めるよう、家族と相談しながら、ゆっくり事を運ぶように進めている。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	スタッフは利用者の方から、昔の暮らしぶりや戦争体験などを聞くことにより、生活の知恵を学んだり人生経験を聞くことにより入居者と共に喜怒哀楽を共有している。	

岐阜県 グループホーム若葉

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	日常の様子や変わったことがある時等、必ず家族の方に電話にて報告している。家族と入居者だけの時間を作ってもらえるよう促し、外出する時間を作ってもらったり、親戚、友人の方と一緒に訪問してもらうようにし、家族の方にも入居者を支えていく関係を保てるようにしている。		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	親子、嫁姑といった関係においても認知症によるトラブルで、介護疲れが生じていたり入居されるにあたって罪悪感を感じられる等、家族によってさまざまな思いはあるが、本人が一番安心して喜ばれるのは家族である事を説明し気持ちにゆとりのある時に会いにきていただくよう進めなごやかな関係が築けている。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人の方にも電話や手紙などで連絡できるように支援し、馴染みの美容院、馴染みの医者など、関係が途切れない様に支援している。		
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	挨拶から始まり、一緒の話題の中に自然に入り込めるように誘いかけることにより、和気あいあいとした雰囲気が見られる。入居者同士のなかで車椅子を押したり椅子を座りやすい様動かしたりなど、小さな配慮が自然に行われている。		
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	家族の都合で退所されたご家族からも、その後の状況について電話があったりするなど、気軽に連絡が取れる状況が見られる。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	レクに参加したくない人には強制をせずその人の思いを尊重するように努めている。食事の時間就寝時間、見たいテレビなど周りに迷惑がかからない程度に本人の意向を尊重するようにしている。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族及び、本人からも時間をかけて調査というイメージではなく、話しの中から聞き取り把握に努めている。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	その人に今どんな看護、介護が必要なのか気付きを大切にし、本人の力を尊重しながら適切なケアが出来るよう申し送りや定例会の場を通して情報を共有している。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	介護計画には、家族の希望また本人の身心状況を書き込むようにし、スタッフの意見を交えながら作成するようにしている。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	本人の生活状況に変化があった時、それに依って介護計画の見直し出来るよう努めている。また、新たな計画に対しては、その都度家族と話し合いの場を設けている。	

岐阜県 グループホーム若葉

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>		
41	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>		
42	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>		

岐阜県. グループホーム若葉

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

岐阜県 グループホーム若葉

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>49</p> <p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>他に移動される場合には、家族から本人に直接話してもらい、移動先にはサマリーにて情報提供し必ずスタッフ2名が現場まで同行し、本人の不安や住み替えによるダメージを最小限に防ぐようにしている。</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>50</p> <p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>入居者を傷つけるような言葉かけや対応、記録に対してもプライバシーを侵害しないよう、入社時、毎月の定例会、または気付いたらその都度注意し細心の配慮をしている。</p>		
<p>51</p> <p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>食事の献立やおやつなどに、入居者のリクエストを取り入れたり、どのような調理方法があるのか話し合い各々分担を決め、利用者の希望の表出や自己決定の支援をしている。</p>		
<p>52</p> <p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりのペースを大切にする事をスタッフが認識し、なにをするにしても強制ではなく利用者の意見を尊重するようにしている。例えば、継続して塗り絵に専念する人や新聞を読む人、編物をするなどその人らしい暮らしを支援している。</p>		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53</p> <p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>美容院へは、行きつけのところがよいと希望される方はスタッフが送迎している。衣類やお化粧品などはその場に出向いて、話し合いながら本人の望むものが購入できるよう支援している。</p>		

岐阜県 グループホーム若葉

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		<p>お酒を飲みたいと希望される方がいるが、入居前アルコール中毒だったので、家族からも禁酒して欲しいとの要望があるため傾聴にて気分転換をはかっている。喫煙する入居者は現在ひとりもおられません。</p>
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		<p>一人ひとりの生活歴を生かし相談するようにしている。例えば、自転車屋をしておられた入居者の方には、車椅子のタイヤの空気を見てもらったり、縫製をしておられた方には、ズボンの丈や袖口の丈の調節を相談したりしている。</p>

岐阜県 グループホーム若葉

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を個人的に所持しておられる方もおられ、買い物の希望がある時それを使用する。		金銭管理をしたいと希望されるかたには、ご家族の了解の下自分で管理してもらいなにを購入したかを確認の上、家族に月1回所持金を確認してもらっている。
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物の希望があるときその都度戸外に出かけられるよう支援している。	○	なるべくその希望に添ってはいるが、その日の希望に添って戸外に出かけることは難しいので今後検討していきたい。
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	外食や喫茶店、文化祭、岐南祭り、岐阜祭り、公園、菊花店。グランドホテルでの昼食会などの機会を作り、家族も同伴できるよう声かけしている。	○	1年に1回のグランドホテルでの昼食会は、家族の出席も促しているが誰も参加されないので積極的に参加されるよう促していきたい。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者本人が希望される場合、電話や手紙などいつでも気軽にやり取りが出来るように支援している。電話の場合みんなの中で話しても良い事柄と事務所でこっそりかけられる時、その時の本人の状況に合わせて対応している。		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	入居前に面会時間、面会人などに制限を設けていない事を説明し、いつでも気軽に訪問できる事を説明している。家族の方に支障が無ければ、知人、親戚、近所の人などの訪問もしていただけるように促している。		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアの実践については、スタッフ定例会時、勉強会を実施。毎日の申し送りの中で身体拘束が無かったかを確認している。		身体拘束廃止事例集報告検討会に出席（平成19年3月8日）

岐阜県 グループホーム若葉

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		<p>入居前にリストカットの既往のあった人は、事務所にてはさみ、カミソリなどを保管している。新品のズボンを切り裂く人には、個人用のハサミをスタッフ預かりとしている。</p>
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		<p>窒息のリスクの高い人に対しては、食事の時の姿勢、舌の運動、食材を刻む、ゆっくり食べるよう毎食説明しスタッフ一人ひとりがハイムリック法を習得している。</p>
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		<p>防災訓練を実施する事により、どのように避難するかを確認している。周りに住居がないため、警察、消防署、隣接する接骨院、町内会の人々に協力を得られよう働きかけている。</p>

岐阜県 グループホーム若葉


項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	入居前、入居1日目、1週間後、毎月家族と起りうるリスクについて話し合ったり説明したりしている。		例えば、家から持ってこられたピンク色の爪切りを、口紅と間違えて何度も唇に押し当てているのを発見。直ぐに、取り上げると混乱を生じさせる為「ちょっと貸してね」と言って保管後、家族に連絡説明し、家族から本人に安全な爪切り（色で間違えていたため）を、渡してもらった。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日バイタルチェックを行う事により、利用者の体調を把握している為、血圧上昇、熱発、呼吸状態など“いつもと違う”時には、速やかに看護師に連絡し、早期発見に努めている。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師が薬の管理を行っており、薬については各スタッフに伝達し、追加、削除についても、その都度、スタッフ全員に申し送っている。スタッフからも小さな症状の変化、服薬の確認などの報告がある。		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分摂取と運動を進めており、毎日排便チェックをしている。運動は、毎日レクの時間を設けて、ラジオ体操、手足の運動、天気の良い日は、散歩、外出に心がけ、食物は根菜類などの摂取、寒天を利用したおやつなどを心がけている。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	入れ歯の人は、3食毎に取り外し、水洗い、夜はポリデント洗浄、それ以外の人は朝、晩の歯磨きを行っている。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	3食摂取量のチェック、水分は、1日量でチェックし、水分確保には、食事以外で進めるよう促している。排便チェック、排尿量を毎日観察しその状態に応じた水分摂取も心がけている。		

岐阜県. グループホーム若葉

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	インフルエンザは、利用者・スタッフ全員が接種としている。感染症に対しては、勉強会にて知識を習得し体調管理に努め、感染予防に努めている。		感染症予防研修会出席（県立看護大学平成19年9月18日）
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	生鮮食品は、2日に1回買出しに行き、調理当番だけでなく、複数の目で使い残しが無いかを確認している。 布巾、おてふき→毎回ハイター消毒、まな板→肉使用時ハイターにて除菌している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関の門扉を開け、天気の良い日の午前中は、玄関を開放にするなど、安心して出入りできるように工夫している。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	光は、明暗が調節できるので、その時々に合わせて活用している。生活感や季節感を採り入れるため、散歩時に野草をとって、花瓶にいけたり、花などを描いて壁に貼ったりしている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂兼居間には、いつも利用者の方が集まり、会話があるが、事務所や多目的ホール、エレベーター前、玄関先などにも椅子を置き、語らいの場を設置している。		

岐阜県 グループホーム若葉

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

岐阜県 グループホーム若葉

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)